

| | | | |
|----|----------|-----|-----------|
| 人口 | 男 2,015人 | 世帯数 | 1,104世帯 |
| | 女 2,059人 | | (53.31現在) |
| 計 | 4,074人 | | |

お誕生おめでとう
 久保 永田弘綱さん
 長女 春香ちゃん
 中居谷 山田秀招さん
 二男 天洋ちゃん
 大和 東征紀さん
 三女 幸恵ちゃん
 上敷永 和気昭夫さん
 長男 美智陽ちゃん

ごめいふくを
 お祈りいたします
 中居谷 中田石松さん

昭和53年度当初・積極型予算

農林業と生活基盤整備を重点に

表1

| | | |
|----------|------------|-------------|
| 一般会計 | 9億1,400万円 | (7億1,000万円) |
| 国保特別会計 | 1億9,470万円 | (1億7,000万円) |
| 簡水特別会計 | 2億4,520万円 | (600万円) |
| 学校給食特別会計 | 3,500万円 | (3,600万円) |
| 車両等特別会計 | 818万円 | (1,150万円) |
| 合 計 | 13億9,708万円 | (9億3,350万円) |

()=52年度

(一) 一般会計
 ○ 肉用牛飼育事業 (六〇〇万円)
 ○ 農林水産・商工振興のため

(二) 国保特別会計
 ○ 簡易給水施設整備に (三〇〇万円)
 ○ 消防施設の整備に (一、二〇〇万円)
 ○ 下排水・飲料水施設に (八、八〇〇万円)

(三) 簡水特別会計
 ○ 医療確保のために
 ○ 歯科診療所の整備 (三〇〇万円)

(四) 学校給食特別会計
 ○ 教育文化スポーツの向上のために
 ○ 教員住宅の建設 (一、九〇〇万円)
 ○ 児童補助プール (一五〇万円)
 ○ テレビ・放送施設に (九四八万円)

(五) 車両等特別会計
 ○ 老人の生きがい対策として

予算編成の基本方針

町民に密着した行政を効果的に推進するため、また均衡のとれた町の進展を期すため、既定の諸施策、諸計画の上に社会状況を勘案しながら、当初重点主義の積極的予算として編成される。

一方、国、地方を問わず問題化されつつある財政難に対処するため、事務物的費用は一〇〜二〇%の削減となっています。

主要施策と事業費の概要

昭和五十三年度の主要な施策として次の七項目の柱を立て、振興を図ることとしています。

一 町民生活の基盤整備のために
 ○ 道路等交通通信網の整備

二 簡易給水施設整備に (三〇〇万円)
 ○ 消防施設の整備に (一、二〇〇万円)
 ○ 下排水・飲料水施設に (八、八〇〇万円)

三 医療確保のために
 ○ 歯科診療所の整備 (三〇〇万円)

四 教育文化スポーツの向上のために
 ○ 教員住宅の建設 (一、九〇〇万円)
 ○ 児童補助プール (一五〇万円)
 ○ テレビ・放送施設に (九四八万円)

五 老人の生きがい対策として

表3 主な事業内容と予算額

| 部門 | 主な仕事 | 予算額(万円) | 部門 | 主な仕事 | 予算額(万円) |
|------|------------|---------|------|----------------|---------|
| 総務 | 広報活動 | 96 | 農林 | 地域農政特別対策 | 2,396 |
| | 広聴活動 | 15 | | 土地改良補助 | 4,390 |
| | 緊急対策 | 50 | | ブル事業 | 500 |
| | 防犯 | 30 | | 畜産振興(老人いきがい対策) | 600 |
| | 交通安全 | 195 | | 林業振興補助 | 300 |
| | 町民運動 | 96 | | 山林防除 | 537 |
| | 放送 | 338 | | 林構関連緊急対策 | 3,788 |
| | テレビ難視対策 | 610 | | 特用林産振興対策 | 668 |
| 民生 | 重度心身障害者医療 | 306 | 水産 | 水産業 | 12 |
| | 老人検診 | 50 | 商工振興 | 商工振興補助 | 78 |
| | ホームヘルパー | 180 | 観光 | 観光 | 425 |
| | 老人医療 | 2,070 | 土木 | 道路維持 | 777 |
| | 国民年金 | 176 | | 道路新設改良 舗装(9) | 7,364 |
| | 地方改善事業道路舗装 | 900 | | 〃 新設 | 150 |
| | 〃 下排水 | 700 | | 〃 改良(2) | 3,770 |
| | 〃 飲料水 | 180 | | 簡易舗装 | 500 |
| | 児童手当 | 1,374 | 災害復旧 | 土木施設 | 52 |
| | 母子福祉 | 30 | | 農業施設 | 650 |
| | 保育所 | 1,549 | 教育 | 教員住宅 | 2,900 |
| 衛生 | 歯科診療 | 300 | | 夜間体育照明施設 | 970 |
| | 母子センター分娩補助 | 53 | | 児童用補助プール | 150 |
| | 0才児医療 | 75 | 消防 | 消防施設(消火栓他) | 970 |
| | 薬剤費 | 94 | | 〃 (防火水そう他) | 232 |
| | 検診委託料 | 124 | 繰出金 | 国保特別会計へ | 189 |
| | 環境衛生剤 | 145 | | 簡水特別会計へ | 912 |
| 農林水産 | 結婚相談 | 18 | | 給食特別会計へ | 1,417 |
| | 産業振興対策 | 1,053 | | 車両特別会計へ | 373 |
| | 山村地域特別対策 | 6,096 | | | |

五十三年度の国保会計は保健婦活動経費が、一般会計へ廻りされたため総額に於いて減少する筈ですが、保健給

新規事業の採用等で二億四百万円の増

一般会計の予算額は、九億一千四百万円です。昨年度に比べて、二億四百万円の増となっています。これは農林業四つの新規事業の採用のほか当初重点予算によるものです。項目別の昨年度との比較は(表2)に示しました。

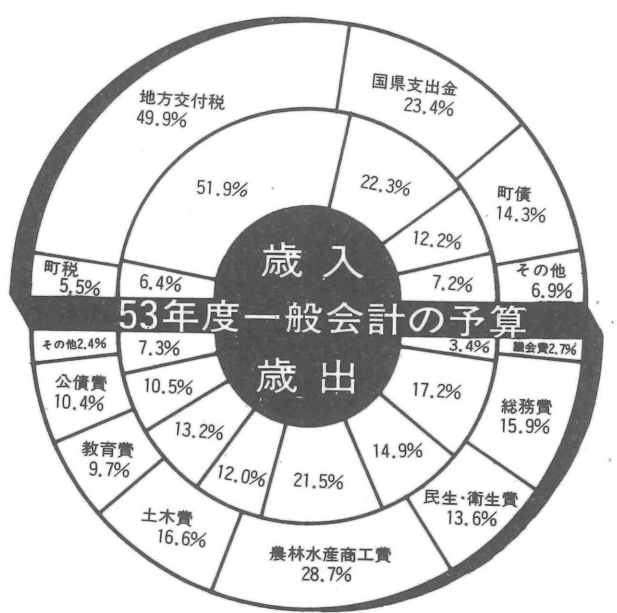


表2 一般会計項目別比較

(外側) 5253年度分
(内側) 52年度分

集音マイク

○青申以外の高額所得者三十四名が来庁。「不景気で税金に回すのは無いぞ。」の声多し、内容も昨年比ゼロからマイナスへ、不況の影響如実。(3/8) (3/10納税相談)

○雨中であったが放水テストを三ヶ所で行う。「使うことはいいんが、心丈夫じゃのう。」は地元の声。(3/9) 上石丸消火栓完了検査

○五十三年度予算等審議十六人の議員と町理事者の目は新しい年度へ。思いはひとつ「町民福祉」(3/11) (3/16町議会定例会)

○残雪の中ではあったが女子生徒のあったが、カラーライスを食べはしやいだ一日が良き思い出となったことだろう。(3/16) 御在所山へ弘中卒業生集箱かけ)

○六九人の若人たちが、山紫水明の弘川の担い手として帰ってくることを祈る。(3/17) 弘中卒業式

○長さ九十、幅九・五、工費一億五千三百万円で新橋完成、開通式には、三世大家族二組に続いて中野小鼓隊が雨の中渡り始めをし、新大橋の安全を祈願した。(3/17) 待望の鹿野川大橋竣工式

○ニコニコ、ニコニコ、五十年の実績がこのふくよかな笑顔を創造。結婚生活の永続は、夫婦の和以外何ものなし、夫婦の和は互いのいたわりの心以外何ものなし。町内の御夫婦の皆さん、この先輩を手本とし、後へ続きましょう。(3/20) 金婚式：七組を祝う

表4 一般会計性質別歳出内訳(単位千円)

| | | | | | |
|------|---------|--------|--------|--------|--------|
| 5千万円 | | | | | |
| 4千万円 | | | | | |
| 3千万円 | | | | | |
| 2千万円 | | | | | |
| 1千万円 | | | | | |
| 金額 | 213,436 | 94,634 | 36,661 | 74,626 | 96,393 |
| 構成比 | 23.4% | 10.4% | 4.0% | 8.2% | 10.4% |
| 科目 | 人件費 | 物件費 | 扶助費 | 補助費等 | 公債費 |

| | | | | |
|------|---------|-------|--------|--------|
| 5千万円 | | | | |
| 4千万円 | | | | |
| 3千万円 | | | | |
| 2千万円 | | | | |
| 1千万円 | | | | |
| 金額 | 356,242 | 7,028 | 18,008 | 16,972 |
| 構成比 | 39.0% | 0.8% | 2.0% | 1.8% |
| 科目 | 普通建設費 | 災害復旧費 | 繰出金 | その他 |

町税は、五、〇四二万円です。歳入の種類別比率は(表2)の上半円のとおりです。国県支出金及び町債の額は、国県の大きな補助事業の採択如何によって左右されるといえます。

町税は大切な自主財源

町車、ひまわり、グライダーなどの車両運営会計は車の更新予定がないため、三〇〇万円余りの減額となっています。

〔学校給食特別会計〕 学校給食会計は、昨年度とほぼ同規模で三、五〇〇万円の予算です。

〔簡水特別会計〕 簡易水道会計は、大規模な改良、増設事業を実施するため、二億二、〇〇〇万円余りの大巾な予算増加となっています。



テープカットをする、左から菅谷松尾橋梁部長・大野町長・久保田脇川建設社長・沼川大洲中央土木事務所長

鹿野川大橋完成

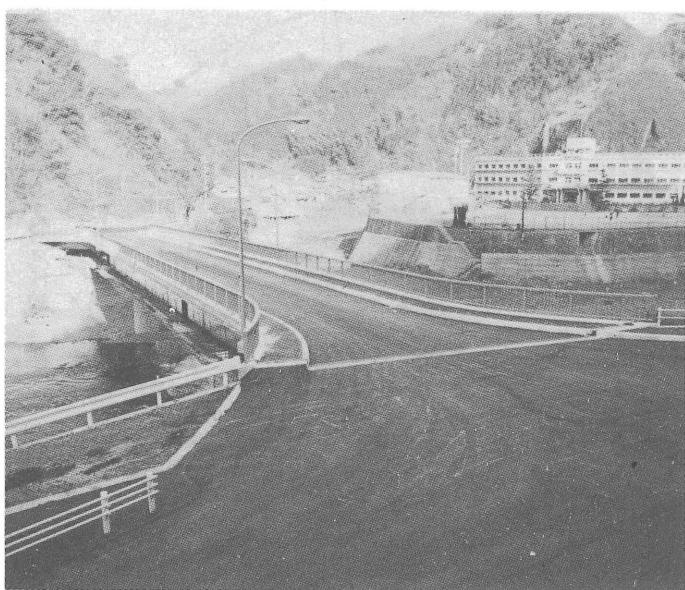
三世代夫婦が渡り初め

昭和四十九年から工事を進めていた、脇川と河辺川の合流地点にかかる、鹿野川大橋が三月二十七日開通しました。完成した鹿野川大橋は、長さ九十九、幅九、五、竣工式は、三月二十七日中央六、五が二車線の車



三世代夫婦二宮真実さんと上田安盛さん一家を先頭に渡り初め

で、地元県議、町議会議員その他関係者90人の出席を得て行われました。おごそかな神事のあと、沼川大洲中央土木事務所長、大野町長、工事施行者がテープカットをして、三世代夫婦が同居している二宮真実さん(下鹿野川)と上田安盛さん(小藪)一家を先頭に、約九十人の列席者が渡り初めを行い、中野小学校児童たちも鼓笛パレードと旗行列を繰り広げて、新橋の開通を祝いました。ふりかえってみますと、昭和十一年にコンクリート橋が完成しましたが、昭和二十年九月十七日に来襲した枕崎台風による大洪水のため流失し、廃止になっていた渡し舟が再び復活を余儀なくされ、人々の往來の便に供されておりました。しかし、当時の農林産物のうち生産物の大半をしめていた木炭の出荷には頭を悩まし、流失をまぬがれた橋台を利用して、応急的にワイヤーロープを張り架線による運搬をはじめました。が、能率は上らず、早期架



脇川と河辺川の合流地点にかかる鹿野川大橋



中野小学校全児童による鼓笛パレードと旗行列

橋を望む住民の声は日増しに募っていききました。こういつた状態が五、六年も続き、ようやく昭和二十六年六月に吊り橋(全長百一、幅三)が完成し、地域のよろこびはひとしおでした。吊り橋は四月中にとり壊され、二十七年間にわたる歴史を閉じます。

一口医学

昔から肝臓病にはシジミ汁といわれますが、これはシジミ汁に胆汁を腸の方へ分泌させる働きをする成分が含まれているからです。

しかしこれだけでは肝臓は治りません。シジミ汁を過信する人の中には昔流に脂肪はいけないと思っている人も多いのですが、脂肪はタンパク質と一緒にとれば、肝臓に害を与える事はありません。いけないのはアルコールです。アルコールに起因する肝臓の病気は、ア

肝臓病の食事

ルコルをやめたただで治ることがあります。

カラシ、ワサビ、コシヨウなどの香辛料は、食欲増進のため少量用いることはさしつかえありません。

牛肉、魚、卵、牛乳などのような良質蛋白質を多くとるとともに、食事を正しくとることをより心がけること。一回の食事は十分食べても、次の食事をとらなかつたり、簡単にすませてしまつようでは効果が薄くなります。

この意味でお勤めの人には弁当持参をおすすめします。

受診者の三割が要注意 誕生日検診を終えて

昭和五十年から、四十才、四十五才、五十五才の誕生日をむかえられた人には、県の補助を受けて、診察、血圧測定、検尿、心電図等の誕生日検診を行って来ました。

その結果(表1)のように五十年から五十二年の三年間で対象者四九七人のうち二五七人(五一・七%)の人が受診しました。(残りの二四〇人は自分の身体に自信があるのか、仕事がいそがしいのか?)

次に(表2)のように受診した二五七人の受診結果をみると八十七人(三十三・九%)の人が何らかの病気について注意を受けています。

次に注意をされた八十七人の病類名をみると、(表3)のように高血圧が最も多く、二十三人(二六・四%)、次いで心臓病十七人と続いています。

この事業は、高血圧や心臓病は長い間に進んできて、初めのうちは全く自分で気がつきません。相当高血圧が進んでいても症状がないことも多く、脳卒中や心臓発作を起こすまでならぬ気になる症状がなかったという例が大多数です。

このために積極的に健康診断を受けて、病気の有無をはっきりさせる目的で行われたものです。

これらの結果は、高血圧や心臓病等は、長期間にわたって進行し、初めは自覚症状がなくても、相当高血圧が進んでいても症状がないことも多く、脳卒中や心臓発作を起こすまでならぬ気になる症状がなかったという例が大多数です。

表1 受診状況 (昭和50年度～52年度)

| 区分 | 40才 | | | 45才 | | | 55才 | | | 全体 | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 対象者数 | 81 | 80 | 161 | 77 | 97 | 174 | 76 | 86 | 162 | 234 | 263 | 497 |
| 受診者数 | 28 | 54 | 82 | 37 | 64 | 101 | 23 | 51 | 74 | 88 | 169 | 257 |
| 受診率 | 34.6% | 67.5% | 50.9% | 48.1% | 66.0% | 58.0% | 30.3% | 59.3% | 45.7% | 37.6% | 64.3% | 51.7% |

表2 受診結果

| 区分 | 該当者数 | | | | | | | | | | | |
|-----|------|----|----|-----|----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
| | 40才 | | | 45才 | | | 55才 | | | 全体 | | |
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 正常 | 22 | 36 | 58 | 26 | 45 | 71 | 16 | 34 | 50 | 64 | 115 | 179 |
| 要注意 | 2 | 8 | 10 | 4 | 5 | 9 | 5 | 11 | 16 | 11 | 24 | 35 |
| 要精査 | 2 | 5 | 7 | 3 | 6 | 8 | 1 | 0 | 1 | 6 | 11 | 17 |
| 要医療 | 2 | 5 | 7 | 4 | 8 | 12 | 1 | 6 | 7 | 7 | 19 | 26 |
| 計 | 28 | 54 | 82 | 37 | 64 | 101 | 23 | 51 | 74 | 88 | 169 | 257 |

表3 検診結果の疾病名とその該当者数

| 疾病名 | 該当者数 | | | | | | | | | | | |
|----------|------|----|----|-----|----|----|-----|----|----|----|----|----|
| | 40才 | | | 45才 | | | 55才 | | | 全体 | | |
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 高血圧性疾患 | 2 | 6 | 8 | 6 | 7 | 13 | 3 | 9 | 12 | 11 | 22 | 33 |
| 心臓疾患 | 2 | 4 | 6 | 2 | 7 | 9 | 0 | 2 | 2 | 4 | 13 | 17 |
| 肝臓・胆のう疾患 | 1 | 5 | 6 | 3 | 5 | 8 | 1 | 0 | 1 | 5 | 10 | 15 |
| 腎臓疾患 | 0 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 4 | 5 |
| 糖尿病 | 2 | 1 | 3 | 1 | 3 | 4 | 0 | 1 | 1 | 3 | 5 | 8 |
| 胃腸疾患 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他疾患 | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 | 4 | 0 | 2 | 2 | 3 | 6 | 9 |
| 合計 | 8 | 20 | 28 | 15 | 25 | 40 | 4 | 15 | 19 | 27 | 60 | 87 |

四人に一人は急病

救急業務の状況

心臓病等いわゆる成人病の地下となり、高血圧を予防することによって、これらの成人病も予防できるというわけになっています。

誕生日検診事業は終了しましたが、今元気がどお思っている人も、定期的に健康診断を受けて安心して働きたいものがあります。

次に、休日、夜間における出動件数をみると、(表2)のように、急病、交通事故、一般負傷となつています。

夜間の急病の中で、よく気をつけておれば、前日かあるいは、当日も早いうちに治療を受けることができ

表1 出動件数 (昭和52年1月1日～12月31日)

| 区分 | 急病 | 交通事故 | 一般負傷 | 労働災害 | 人災水難 | 運動競技 | その他 | 計 |
|-----|----|------|------|------|------|------|-----|----|
| 51年 | 26 | 11 | 15 | 3 | | 1 | 4 | 60 |
| 52年 | 23 | 14 | 7 | 4 | | | 11 | 59 |

その他……転医、ねたきり老人等。

表2 休日・夜間における出動状況

| 区分 | 急病 | 交通事故 | 一般負傷 | 労働災害 | 人災水難 | 運動競技 | その他 | 計 |
|-----|----|------|------|------|------|------|-----|----|
| 51年 | 13 | 6 | 6 | 1 | | 1 | | 27 |
| 52年 | 9 | 3 | 3 | | | | 1 | 16 |

また、急病人などの場合は家族の助けが本道まで出て誘導してもらえればそれだけ早く現場に到着できることになり、(特に夜間)救急車は役場町民課まで(電話三三二一)

子供たちはいま、なにを考へ、悩み、どんな遊びをしているのだろうか。さきごろ総理府がまとめた五十二年版「青少年白書」は、子供たちの全体像を浮きぼりにしています。

そのなかのいくつかを紹介すると、

「遊びはテレビで」小学生のふだんの遊びは「テレビを見る」が、男女ともにトップ。ついで「本、マンガを読む」「自転車乗り」の順になっています。

これは昭和二十九年当時の小学生の「遊びベストスリー」「なわとび」「鬼ごっこ」「ベースボール」と比べ、遊び方もガラリと変わっていることがわかります。

「なんでも話し合える友達を」どんな友達か欲しいか、という問に対して答の多かったのは「なんでも話し合

おめでとうございます 七組の合同金婚式

結婚後五十年、長い風雪を共に歩んでこられた七組の方々の合同金婚式を、三月二十九日に、肱川町公民館で行いました。

公民館結婚式場と同じ会場、記念の杯、主催者のことば、記念品贈呈、来賓祝辞、祝吟、金婚者代表のことばなどの記念式を行った後、和やかな祝宴に移りましたが、全員の方に語って貰った五十年の思い出話は、夫婦というもののあり方をしみじみ

み考えさせられるものばかりでした。

その中で、今の心境は、新聞でみた歌とそっくりだと次のような歌を紹介した人もありました。

泣き笑い
助けはげまし五十年
この妻ありて
われもまたあり
(大谷・都谷)

五十二年に金婚式を迎えられた方々は次の通りです。

●坪田嘉儀 実(協生) ●奥田陸太郎 ノブラ(共栄)
●二宮重治 ヒサヲ(森)
●沖野藤徳 ヨシヲ(小藪)
●三瀬音吉 シマ(市の畦)
●和気久衛 一代(上嵯峨谷)

男子の子は「野球選手」 女の子は「幼稚園の先生」

— 大きくなったらなりたい人 —



式終了後記念撮影



手づくりの巣箱をかける肱川中学校3年生

御在所山「憩の森」に 巣箱かけ

肱川町大谷の御在所山（六六八）の山頂に、肱川中学校三年生六十九人が、巣箱の材料は森林組合が提供し、学校教育の一貫として山岡希生教諭の指導のもとで、全校生徒が百個の手づくりの昨年七月より取りかかったこのほど完成したものです。

この日は、マイクロバスで山の中腹にある森林総合案内所まで行き、女子生徒は昼食準備にと残り、男子生徒は手づくりの巣箱を片手に山頂一・三の山道へ

と登り、それぞれ樹木に思いをこめて取りつけていました。

巣箱掛けは二時間ばかりの作業でした。女子生徒が待つ案内所へと足を運び、手料理を囲んで巣箱掛けを終わりました。

中学を巣立つ生徒は巣箱掛けによって「ふるさと肱川」を大切にしてくれることとしよう。

「人権尊重」は憲法の基本理念

5月1日から憲法週間

五月一日から七日までは、憲法週間です。

日本国憲法は「基本的人権の尊重」を基本理念の一つとしております。

「基本的人権」(略して「人権」ともいう)とは、「すべての人間は、生れながらにして自由、平等であり、人間として尊重され、物質的にも精神的にも幸福な生活をおくる権利」ということです。

この人権は、自己に存すると同様他人にも等しく存するものでありますから、自己の権利を主張するばかりでなく、他人の人権をも尊重することを忘れてはなりません。

憲法週間を迎えるにあたって、私たちの日常生活の中で、「人権」についても一度考えてみましょう。

憲法が保障する人権が、現実には、全面的に尊重されているとは言い難い状態

「お気軽に相談所へ」

お気軽にご利用ください

交通事故相談所

交通事故は、事故の処理から賠償問題など、さまざまな悩みが生じてまいります。

また最近では諸問題の複雑化に加え、悪質示談屋等が存在しております。

県では、交通事故被害者や、その関係者の方々の悩

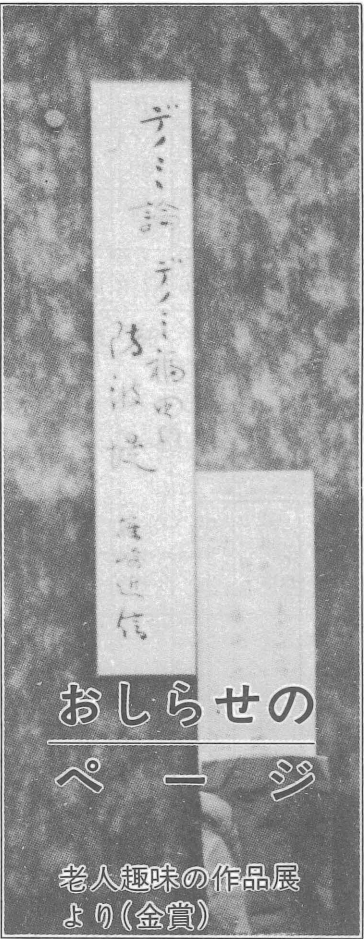
みを一日も早く解消するため、交通事故相談所を設け、専門の相談員が、示談の仕方や調停、裁判の方法、あるいは賠償額の算定、請求方法などについて相談にあたりたいです。

相談は無料で、秘密は守られますので、お気軽にご利用下さい。

【定期相談日と場所】

- 場所 大洲市役所
- 相談日 毎月十日、二十日
- 受付 十時～十五時
- 土、日曜日、祝祭日にあたる場合は、その翌日となります。

なお、県庁(本館二階)交通事故相談所では、日曜、祝祭日を除く毎日、九時から十六時まで受付いたします。



◇ 心配ごと相談 ◇
「お気軽に相談所へ」

◎ 相談時間
各相談日とも 9時～16時

◎ 相談場所
町公民館心配ごと相談室
(肱川町社会福祉協議会)

| 相談日 | 担当相談員 |
|-------|-----------|
| 4月25日 | 谷本・佐久保相談員 |
| 5月5日 | 山中・宮本・福田 |
| 5月15日 | 都谷・藏田 |
| 5月25日 | 戒野・森本 |

● 離婚、扶養、相続その他の法律問題
でお悩みの方は、人権擁護委員が法務局へご相談下さい。相談は無料で秘密は守られます。

● 大谷 都谷文雄さん
中居谷 飛野虎生さん

泰平一家



- とき 五月十日
- ところ 肱川町公民館
- 内容 妊娠中の生理
- とき 五月十七日
- ところ 肱川町公民館
- とき 五月十五日
- ところ 肱川町公民館
- とき 五月十五日
- ところ 肱川町公民館

- とき 五月十日
- ところ 谷公民館
- 受付 十三時～十四時
- とき 五月五日
- ところ 肱川町公民館
- とき 五月十五日
- ところ 肱川町公民館

四月からサラリーマンとしての第一歩を踏み出された方、給与にかかる税金のしくみをご存じですか。

所得税は、給与やボーナスをもらうときに天引きで徴収される「源泉徴収制度」をとっています。

さて、所得税の計算ですが、次のような算式ではじき出されます。

所得税額＝(年収－給与所得控除額－所得控除額)×税率

給与所得控除とは、商売などをしている人たちの場合でいう必要経費に相当するものですが、次のように計算されます。

① 年収百五十万円以下の場合は年収の四割(ただし、計算した金額が五十万円未満の場合は五十万円)

② 年収百五十万円～三百万円の場合は年収の三割プラス十五万円

③ 年収三百万円～六百万円の場合は年収の二割プラス四十五万円

④ 年収六百万円以上の場合は

毎月の給料やボーナスから差し引かれる所得税は、一定の税額表によって源泉徴収されますが、十二月に年末調整によって精算が行われます。

四月からサラリーマンとしての第一歩を踏み出された方、給与にかかる税金のしくみをご存じですか。

所得税は、給与やボーナスをもらうときに天引きで徴収される「源泉徴収制度」をとっています。

さて、所得税の計算ですが、次のような算式ではじき出されます。

所得税額＝(年収－給与所得控除額－所得控除額)×税率

給与所得控除とは、商売などをしている人たちの場合でいう必要経費に相当するものですが、次のように計算されます。

① 年収百五十万円以下の場合は年収の四割(ただし、計算した金額が五十万円未満の場合は五十万円)

② 年収百五十万円～三百万円の場合は年収の三割プラス十五万円

③ 年収三百万円～六百万円の場合は年収の二割プラス四十五万円

④ 年収六百万円以上の場合は

毎月の給料やボーナスから差し引かれる所得税は、一定の税額表によって源泉徴収されますが、十二月に年末調整によって精算が行われます。



税の知識3

サラリーマンと税金